

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18 ・ 21	職員と利用者様は暮らしを共にする者同士の関係を築いているが、利用者様同士の関係を築ける様な場所を提供したい。	毎日の生活の中で、職員は利用者様の要求に対し日々答える姿勢が見られるが、一方的に介護をするのでは無く、利用者を見守る職員であって欲しいと思う。出来る事は願います。又、利用者様同士互いに話しかけ合える場所を提供したい。	食卓テーブルに水、お湯のポット及び急須等を置き、好きな時、利用者様同士お茶を飲んで頂けるように支援する。職員はやけどなどに注意して見守り、出来るだけ、利用者同士が話し掛けにより、自分の意志で決定するよう気配りをする。	3か月
2	45	今年は敬老会には温泉へは出掛けしたが、個人的には連れて行けなかった。	温泉に出掛けて、入居者様にゆっくりと温泉につかって頂きたい。	職員2人と共に2人の入居者様を温泉と一緒に連れて行く。体調に気づかい温泉につかって頂く。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。